

II 農業の体質強化と攻めの視点に立った生産の展開

1 関東農業の全国に占める位置と農業生産等の動向

(1) 関東農業の全国に占める位置

① 主要農業指標と全国におけるシェア

販売農家数、農業産出額で全国の4分の1を占める一大食料供給基地

管内の農業指標についてみると、耕地面積は83万1千ha（平成20年7月15日現在）で全国の18.0%、販売農家数は46万3千戸（17年2月1日現在）で同23.6%、農業産出額は2兆1,371億円（18年）で同24.8%を占め、我が国の一大食料供給基地となっている（表II-1-1、図II-1-1）。

表II-1-1 管内の主要農業指標と全国におけるシェア

	管内	全国	管内シェア(%)
耕地面積(H20)	831千ha	4,628千ha	18.0
販売農家数(H17)	463千戸	1,963千戸	23.6
農業就業人口(H17)	841千人	3,353千人	25.1
農業産出額(H18)	21,371億円	86,321億円	24.8

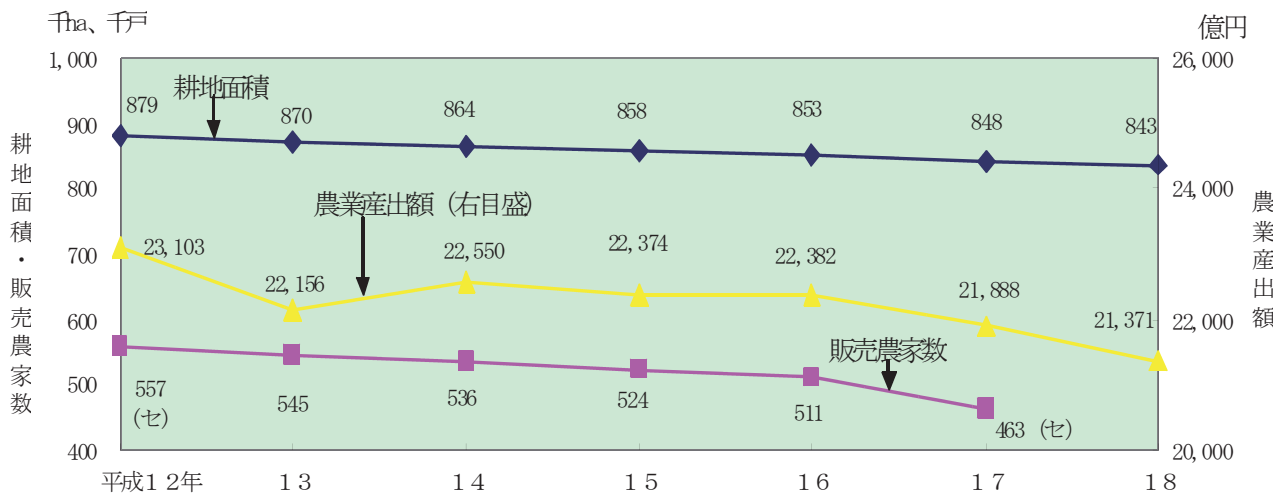
資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」、「2005年農林業センサス」、「生産農業所得統計（市町村別推計）」

注：1）耕地面積（H20）は概数値

2）「販売農家」とは、経営耕地面積が30a以上又は過去1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。

3）「農業就業人口」とは、15歳以上の農家世帯員のうち、自営農業に主として従事した者をいう。

図II-1-1 管内の主要農業指標の推移



資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」、「生産農業所得統計（市町村別推計）」、「農業構造動態調査」、「農林業センサス」

注：1）販売農家数の(七)はセンサス年。なお、平成18年から管内の販売農家数の公表はない。

2）農業産出額は「日本標準産業分類（第11回改訂）」（総務省）に基づき、平成13年から「もやし」を含む。

第2部 関東食料・農業・農村の動向

② 農業産出額の全国シェアと順位

全国シェアは、野菜36%、果実27%、花き29%、豚28%、鶏卵25%、加工農産物44%

管内各都県の農業産出額（18年）を全国順位で見ると、3位千葉県、4位茨城県、10位栃木県と3県が10位内に入り、また、主要作目別にみても管内各県が上位に位置しており、管内の農業は全国的に重要な地位にある（表Ⅱ-1-2）。

表Ⅱ-1-2 管内各都県の農業産出額の全国順位（平成18年）

（単位：%）

		農業 産出額	米	麦類	豆類	いも類	野菜	果実	花き	工芸 農作物	生乳	豚	鶏卵	加工 農産物
管内の全国シェア		24.8	19.7	12.9	17.7	25.7	36.0	26.7	29.0	22.3	20.4	27.9	24.7	44.0
全国 順位	1位	北海道	新潟	北海道	北海道	北海道	北海道	青森	愛知	北海道	北海道	鹿児島	千葉	静岡
	2位	鹿児島	北海道	福岡	千葉	鹿児島	千葉	和歌山	福岡	静岡	栃木	宮崎	愛知	鹿児島
	3位	千葉	秋田	佐賀	兵庫	千葉	茨城	長野	千葉	鹿児島	千葉	茨城	茨城	茨城
	4位	茨城	福島	群馬	宮城	茨城	熊本	山梨	静岡	沖縄	群馬	千葉	鹿児島	熊本
	5位	宮崎	山形	栃木	茨城	長崎	愛知	愛媛	長野	熊本	熊本	群馬	北海道	京都
	6位	愛知	茨城	埼玉	栃木・秋田	徳島	群馬	山形	埼玉	宮崎	岩手	北海道	岡山	宮崎
	7位	熊本	宮城	熊本		宮崎	埼玉	熊本	鹿児島	群馬	愛知	岩手	広島	長野
	8位	新潟	栃木	滋賀	新潟	熊本	栃木	静岡	北海道	岩手	茨城	青森	宮城	三重
	9位	青森	千葉	茨城・愛知	岡山	静岡	長野	福島	沖縄	青森	宮城	愛知	青森・新潟	福岡
	10位	栃木	岩手		福岡	埼玉	宮崎	福岡	茨城	三重	兵庫	栃木		和歌山

資料：農林水産省「生産農業所得統計（市町村別推計）」

注：加工農産物とは、かんぴょう、切干かんしょ、荒茶などである。

(2) 農業生産の動向

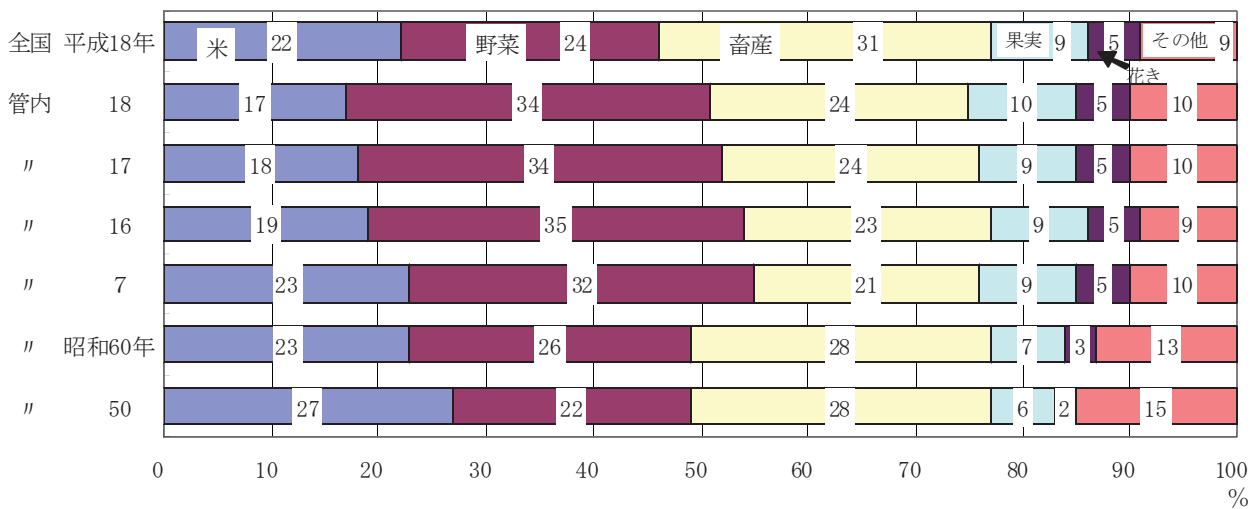
① 部門別農業生産の推移

野菜の割合は30%台で安定

管内の農業産出額（18年）の部門別構成割合をみると、野菜が34%、畜産24%、米17%、果実10%となっている。これを全国と比較すると、野菜は（全国は24%）10ポイント高い一方、畜産は（同31%）7ポイント、米は（同22%）5ポイントそれぞれ低くなっている。

構成割合の推移を見ると、米は生産量の減少により年々低下傾向で推移しており、野菜は価格変動により年で増減は見られるものの、近年はほぼ横ばいで推移している（図Ⅱ-1-2）。

図Ⅱ-1-2 管内農業産出額の構成割合の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計(市町村別推計)」

注：養蚕はその他に含め集計していたが、平成13年からは畜産に含め集計している。

第2部 関東食料・農業・農村の動向

② 各都県の主要農業部門割合

多様で特徴的な農業生産が展開

管内各都県の農業産出額（18年）の部門別構成割合をみると、7都県において野菜が部門別の第1位を占めており、管内が野菜の主産地域であることがうかがえる。

また、山梨県では果実が第1位で6割を占め、栃木県、群馬県では畜産が第1位で、それぞれ3割、4割を占めている。

管内の農作物作付面積（18年）の部門別割合をみると、稲が43.2%、野菜が21.0%、果樹が7.9%、飼肥料作物が7.0%、麦類が5.9%となっている。これを全国と比較すると、稲は（全国は38.8%）4.4ポイント、野菜は（同12.8%）8.2ポイント、果樹は（同6.0%）1.9ポイント、それぞれ高い一方、飼肥料作物は（同23.4%）16.4ポイント低くなっている。都県別では、多くの都県において稲や野菜が上位を占めている。また、山梨県では果樹が第1位（47.6%）、静岡県では工芸農作物が第1位（29.8%）を占めており、立地、自然条件等を活かした多様な農業生産が展開されている（表Ⅱ-1-3）。

表Ⅱ-1-3 各都県における主要農業部門の割合（平成18年）

	農業 産出額 (億円)	農業産出額 部門別割合 (%)			耕地 面積 (千ha)	作付 延べ面積 (千ha)	農作物作付面積部門別割合 (作付延べ面積に対する割合 (%))				
		1位	2位	3位			1位	2位	3位	4位	5位
茨城県	3,988	野菜 37.9	畜産 24.0	米 22.4	177	160	稲 50.6	野菜 18.7	麦類 6.1	飼肥料作物 4.8	果樹 4.6
栃木県	2,609	畜産 33.4	野菜 28.0	米 27.4	129	120	稲 56.2	麦類 11.9	飼肥料作物 11.6	野菜 8.2	豆類 4.7
群馬県	2,250	畜産 41.1	野菜 36.4	米 8.5	78	72	野菜 28.4	稲 26.7	飼肥料作物 13.0	麦類 12.9	工芸農作物 5.6
埼玉県	1,900	野菜 42.8	米 21.6	畜産 17.1	84	71	稲 52.2	野菜 20.7	麦類 10.5	飼肥料作物 3.4	果樹 3.3
千葉県	4,014	野菜 39.1	畜産 25.0	米 17.6	132	125	稲 50.4	野菜 27.2	豆類 6.2	かんしょ 4.2	飼肥料作物 3.3
東京都	278	野菜 55.8	花き 17.3	果実 11.2	8	8	野菜 50.4	果樹 16.6	工芸農作物 4.2	飼肥料作物 3.9	稲 2.8
神奈川県	736	野菜 48.2	畜産 23.9	果実 12.5	21	20	野菜 46.1	果樹 17.9	稲 16.2	飼肥料作物 4.3	かんしょ 2.1
山梨県	832	果実 61.8	野菜 13.3	畜産 9.0	26	23	果樹 47.6	稲 24.1	野菜 15.9	飼肥料作物 6.4	豆類 2.4
長野県	2,322	野菜 28.9	果実 22.9	米 21.1	113	100	稲 36.3	野菜 25.4	果樹 15.9	飼肥料作物 11.0	豆類 3.4
静岡県	2,443	野菜 24.8	工芸農作物 17.4	畜産 17.2	74	68	工芸農作物 29.8	稲 27.2	野菜 14.8	果樹 14.3	飼肥料作物 4.4
管内	21,371	野菜 34.4	畜産 23.8	米 17.4	843	767	稲 43.2	野菜 21.0	果樹 7.9	飼肥料作物 7.0	麦類 5.9
全国	86,321	畜産 30.7	野菜 23.6	米 21.9	4,671	4,346	稲 38.8	飼肥料作物 23.4	野菜 12.8	麦類 6.3	果樹 6.0

資料：農林水産省「生産農業所得統計（市町村別推計）」、「耕地及び作付面積統計」
注：ラウンドにより、計と内訳が一致しない場合がある。